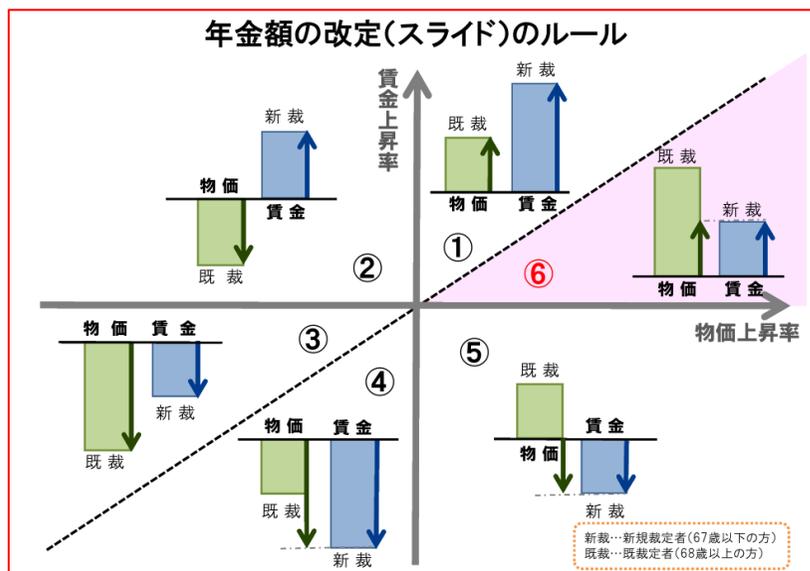


今年4月から基礎1.9%厚生2.0%アップ 物価3.2%賃金2.1%アップしたのに

物価・賃金・年金改定率の推移

年	物価変動率	比較	単位 %	
			賃金変動率	年金改定率
2005(H17)	0.0	<	0.3	0.0
2006(H18)	-0.3	>	-0.4	-0.3
2007(H19)	0.3	>	0.0	0.0
2008(H20)	0.0	>	-0.4	0.0
2009(H21)	1.4	>	0.9	0.0
2010(H22)	-1.4	>	-2.6	0.0
2011(H23)	-0.7	>	-2.2	-0.4
2012(H24)	-0.3	>	-1.6	-0.3
2013(H25)	0.0	>	-0.6	0.0
				-1.0
2014(H26)	0.4	>	0.3	-0.7
2015(H27)	2.7	>	2.3	0.9
2016(H28)	0.8	>	-0.2	0.0
2017(H29)	-0.1	>	-1.1	-0.1
2018(H30)	0.5	>	-0.4	0.0
2019(R1)	1.0	>	0.6	0.1
2020(R2)	0.5	>	0.3	0.2
2021(R3)	0.0	>	-0.1	-0.1
2022(R4)	-0.2	>	-0.4	-0.4
2023(R5)	2.5	<	2.8	1.9
2024(R6)	3.2	>	3.1	2.7
2025(R7)	2.7	>	2.3	1.9
2026(R8)	3.2	>	2.1	基1.9 厚2.0
計	16.2	>	5.0	6.3



令和8年度の
年金改定

マクロ経済
スライド



厚生労働省のホームページから

私たちが定年退職後65歳になってから受取る年金は、物価上昇に見合うアップが行われているのでしょうか。厚生労働省で1月23日に発表した4月からの年金引き上げについて、一緒に考えてみましょう。

年金は、マクロ経済スライドに基づき決定することになっています。前年の物価や賃金上昇と将来の現役人口を考慮して決めることになっています。

国土交通省管理職ユニオン
中央本部(2026. 2)